

科目名	日本語教育の実践Ⅲ(中級・上級指導・会話)1～2
授業の目標・ねらい	<p>中級・上級レベルで身につけるべき会話力とはどのようなものかを考察します。まず、会話能力を測定する際に、どのような尺度・基準でレベル判定を行うのかを、CEFR や OPI*を例に概要を整理します。次に、そこで得られる観点を踏まえ、特に中級・上級学習者の会話指導にどのように生かせるか具体的に検討します。</p> <p>* OPI(Oral Proficiency Interview) : ACTFL(American Council on the Teaching of Foreign Languages)が開発した汎言語的な口頭運用能力テスト</p>
授業内容・授業方法	<p>1. 会話技能と評価</p> <p>①会話レベルの枠組み</p> <p>②会話テストの概要(レベル判定の尺度と基準)</p> <p>③インタビューと評価の体験</p> <p>2. 会話技能と教育</p> <p>①中・上級の会話指導(活動設計)</p> <p>②その他の会話テスト</p> <p>* 講義と演習(ペアワーク、グループワーク等)を併用します。</p>
予習・復習	予習・復習: 日本語 OPI 研究会のホームページより「OPI 入門」を予習として、「OPI 資料集」を復習としておすすめします。
使用テキスト	プリントを配付します。
参考書等	授業時に適宜紹介します。
講師	長谷川由香
所属	拓殖大学外国語学部
研究分野	日本語教育、社会言語学
講師紹介	日本語教員養成、会話評価と教育、社会言語学(方言)等に関心を持っています。